

大学における全学生教職員への小型無線端末の配布

小柏伸夫

共愛学園前橋国際大学

[アブストラクト]

共愛学園前橋国際大学では、2010年4月からユビキタス・キャンパスネットワークプロジェクトを開始した。このユビキタス・キャンパスネットワークプロジェクトの一環として、2010年4月及び2011年4月に無線LAN対応端末として全学生に iPod touch、全教職員に iPod touch 又は iPad を配布した。

このユビキタス・キャンパスネットワークプロジェクトは、無線LAN環境を敷設しただけのユビキタス環境ではなく、全学生教職員が小型の無線LAN対応端末を常時保有することや、適切な学内情報サービスの提供までも含めた環境である。

2010年4月から2011年8月までの間には、スマートフォン利用者の増加などの環境変化もあり、これらの変化にも対応する運用の経験を経て、大学における通年の教育及び研究活動、付随する業務におけるユビキタス・キャンパスの利便性や、今後の方向性、解決すべき課題が明らかとなった。

[キーワード]

学内無線LAN、ユビキタスキャンパス、携帯型無線LAN対応端末、スマートフォン

[講演要旨]

共愛学園前橋国際大学では、2010年～2011年にかけて iPod touch、iPad 等の小型無線LAN対応端末を全学生及び全教職員に配布した。併せて、学内全域に無線LAN環境を整備し、授業での出席登録、履修登録、e-learningなど授業における無線LAN環境の活用、また、教職員の会議資料の電子化を進めた。

本講演では、大学における学内無線LAN環境の構築、並びに、全学生教職員が無線LAN端末を日常的に活用するというネットワーク環境の運用経験から得られた知見について報告する。